

第24回「土の中からのメッセージ⑥」 ～中世の人々の祈り～

昨年発掘調査を行った喜多院境内遺跡では、室町時代の地下室が発見されました。

この地下室からは壺や香炉などの

やきもののほかに、

絵や文字の刻まれた“石の板”がたくさん出土しました。これらは「板碑（いたび）」と呼ばれる供養塔の破片です。今回はこの「板碑」についてお話しします。

(写真：喜多院境内遺跡第2次調査より)



☆板碑って何？

板碑は石でつくられた中世の供養塔です。亡くなった人の霊をなぐさめたり、自分が死後、極楽へ行けるようにと願うためにつくられました。細長い板のような青(緑)色の石を材料にしているため「青石塔婆」と呼ばれることもあります。尖った頭に2条の線が刻まれているのも大きな特徴です。埼玉県内では2万基を超える数の板碑が現在までに見つかっています。

☆何て書いてあるの？



キリーク

板碑の一番上に刻まれているのは梵字という古代インドの文字です。写真の文字は「阿弥陀如来」を意味する「キリーク」です。自らの信仰する仏様を一文字で表したものです。その下には漢字で、つくられた年代や、つくった人の名前などが書かれています。刻まれた年号を調べてみると、板碑がつけられたのは、鎌倉時代～安土桃山時代。およそ800年前から400年前にかけての時代であることがわかります。



刻まれる梵字はほかにもいろいろ種類があります。

☆どうして土に埋まってしまったの？

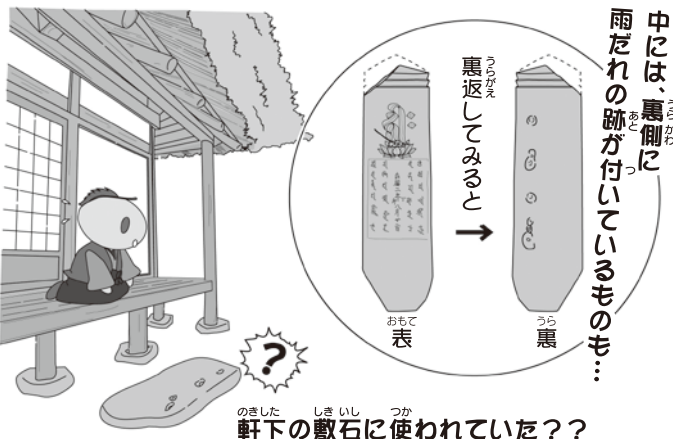
残念なことに、つくられてから何十年、何百年と時が経つにつれて多くの場合、板碑の存在は、建てた人の思いと共に少しずつ忘れ去られていきます。井戸や溝の中に捨てられたり、単に石の板として別の用途に再利用されたものもあったようです。

しかし中には、人々の祈りの象徴として、墓地の

片隅などに現在まで伝えられたものがあります。喜多院境内にある有名な「暦応の古碑」



文明14年(1482年)の上寺山釈迦堂の板碑



(埼玉県の指定史跡)は1342年につくられた板碑です。ほかにも川越市内には500基を超える板碑があちらこちらにたたずんでいます。お墓参りなどするとき、少し周りを探してみましょう。

教育相談Q&A

◆運動不足が気になる小学生

【Q】小学二年生の息子を持つ親です。学校には友達も多く、楽しく登校しています。しかし、放課後や休日の過ごし方が気になります。家でゲームをしたり、テレビを見たりして過ごす毎日です。勉強の時間も大切ですが、小学生にとっては健康と体力は親として大切なことと思っています。私達が小学生の頃は、もっと外で遊んでいたように思うのですが、最近の子どもたちの体力はどうなっているのでしょうか。また、子どもの体力を高めるために家庭でできることはどんなことが考えられるか教えてください。

【A】確かに、市内小学生の体力テストの結果を見ると、近年、投力の低下など子どもたちの体力には課題が見られます。そのため、各学校では、体力向上に向けたさまざまな工夫をして取り組んでいるところです。しかし、子どもたちの体力向上には、やはり学校・家庭・地域が連携してこそ、効果が期待できます。

そこで、お子さんの体力向上に向けて、ご家庭でできる取組をご紹介します。

①運動の習慣化

特に、小学校低学年のお子さんには、生活の中に運動を習慣化させることから始めてはいかがでしょうか。

そのためには、外遊びをすることが大切です。しかし、最近は、交通事故や不審者等により外遊びも心配されたり、遊ぶ場所が少なくなったりするなど、外遊びをするのにも難しい状況があるようです。こうした中では、ご家族の目の届く範囲で友達と外遊びをさせたり、休日には、ご家族そろって近くの公園で遊んだりしてはいかがでしょうか。ご家族と一緒に遊ぶ活動を通して、お子さんに身体を動かすことの楽しさを体験させてください。大切なことは、継続して運動に親しむことです。そして、続けられたことや上手になったことを具体的に褒め、運動好きになるよう、声をかけてあげてください。

②規則正しい生活

体力を向上させるためには、生活のリズムを整えることは欠かせないことです。「早寝、早起き、朝ごはん」は、健康な身体をつくる上で大切なことです。日頃、ゲームなどをして夜型になりがちなお子さんにとっては根気が必要になりますが、規則正しい生活が送れるようしつけをしましょう。

このように、毎日の積み重ねが、お子さんの体力向上につながります。ご家族で遊ぶ時間を作るほかに、地域で夏休みに行われるラジオ体操に親子で参加するのも良いでしょう。ご家族と一緒に楽しく運動に親しむ経験が、お子さんの運動不足解消につながると思います。ご家族で是非、取り組んでみてください。

6月～10月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
夏休み工作教室	7月24日 ①10時～②15時～ 申し込み＝7月3日、9時30分から電話またはファクス(定員各回20人)		中央図書館 Tel.222-0559 Fax.224-7822
としゃかんたんけん	8月1日 ①10時～②13時30分～ 申し込み＝7月9日、9時30分から電話またはファクス(定員各回10人)		
こわいおはなし会	8月23日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 Tel.237-5660
ちょっとこわいおはなし会	8月1日 16時～		
こわいおはなし会	8月8日 16時～		
こわいこわいおはなし会	8月15日 16時～		
すごーくこわいおはなし会	8月22日 16時～		
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～11時30分		川越駅東口図書館 Tel.228-7712
夏休み工作教室	7月22日、8月26日 ①10時～11時②14時～15時 申し込み＝7月4日、9時30分から来館または電話(定員各回8人)		
かすかにこわいおはなし会	8月28日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 Tel.238-7550 Fax.238-7551
夏休み工作教室	7月25日 ①10時～11時②14時～15時 申し込み＝7月11日、9時30分から来館、電話またはファクス(定員各回10人)		
こわいおはなし会	8月9日 ①10時30分～②15時～		